
平成 29 年 北海道建築士会 第 2 回まちづくり委員会 議事録

開催日時：平成 29 年 12 月 16 日（土） 14：00～16：30

開催場所：事務局会議室（札幌市中央区大通西 5 丁目 大五ビル 6 階）

出席者：＜担当常務 兼 委員長＞針ヶ谷 拓己（札幌）

＜副委員長＞清水 浩史（札幌）

＜委員＞若浜 崇（桧山）、北野 学（名寄）、高橋 真美（北見）

＜協議事項＞

1. 平成 29 年事業報告、平成 30 年事業計画・予算について（針ヶ谷）【14：00～14：30】

（1）平成 29 年事業報告・決算見込み

○別紙にて説明

事業報告については各担当責任者より補足や感想いただく

（2）平成 30 年事業計画・予算について

○別紙にて説明（委員会の日程、各事業の日程確認）

・委員会等の日程

1 月 27 日（土） 小会議（事業計画について）

2 月 24 日（土） 第 1 回委員会（事業計画、フォーラム・全道大会の企画検討）

5 月 26 日（土） WEB 会議－1（フォーラムの企画確定、全道大会の企画検討）

8 月 25 日（土） WEB 会議－2（全道大会の企画確定）

10 月 20 日（土） 第 2 回委員会（次年度事業計画及び予算について）

・事業の日程

2 月 未定（土） 北海道ブロックまちづくり部会協議会

6 月 未定（土） まちづくりフォーラム in 釧路

10 月 6 日（土） 全道大会土別大会分科会

2. 高校生デザインコンクールについて（針ヶ谷）【14：30～14：35】

○担当 ◎針ヶ谷

○日時 運営委員会 6 月、選定委員会 9 月

○概要 道内の建築系学科が設置されている工業高校に在籍する生徒の皆さんから、道の整備する公共建築物のデザインについて、高校生らしい夢のあるユニークなアイデアを広く募集するもので、北海道・日本建築家協会北海道支部・北海道建築士事務所協会・北海道建築士会の共催によって開催される。

まちづくり委員会としては、6 月の運営委員会、9 月の選定委員会へ委員を派遣する。

○選考委員会（実施済）

・開催日 平成 29 年 9 月 7 日（木）10：30～15：00

- ・開催場所 北海道庁赤れんが2階1号会議室
- ・内 容 応募108作品より、一次審査にて各選定委員10作品を投票。二次審査は選出された10作品を各選定委員にて5段階評価し、その結果を基に全体協議が行われ、各賞を決めた。

最優秀賞 苫小牧工業高校 田村佑太さん、菅原拓さん、澤田元輝さん

タイトル「Wood arch」

既設の円形噴水に沿って、地を這うような流線形で美しいフォルムの四阿を、模型写真で上手に表現するとともに、子どもたちが屋根に登って遊べる機能性も備えるなど、バランスのとれた作品であった。

優秀賞 苫小牧工業高校定時制×1、函館工業高校×1、苫小牧工業高校×1

佳作 函館工業高校×1、苫小牧工業高校×2、留萌千望高校×1

特別賞 苫小牧工業高校×2

公 開 平成30年1月11日(木)12日(金)

北海道庁1階道政広報コーナーにて応募全作品の展示会を開催

※詳細は別紙による

○運営委員会(2回目)

- ・開催日 平成29年12月18日(月)14:30
- ・開催場所 北海道庁 建設部A会議室

3. 高校生「建築甲子園」について(針ヶ谷)【14:35~14:40】

○担当 ◎針ヶ谷

○日時 応募締切10月末

○内容 将来の日本の建築を担う建築教育課程のある工業高校及び高等学校の生徒を対象に、研究創作活動に対するコンペ「建築甲子園」を実施する。研究創作活動の例として、実習活動、建築の設計、インテリア、家具の設計製作、都市その計画とアイデア等がある。主催は日本建築士会連合会・都道府県建築士会、後援は全国工業高等学校長協議会・国土交通省である。

道士会としては、募集時、表彰時に学校を訪問し積極的に関わる。まちづくり委員会としては、北海道代表の作品選抜の審査を行う。

【作品選抜審査】

- ・開催日 平成29年11月20日(月)
- ・選抜方法 応募作品は1点のみであったが、北海道代表に相応しい作品であるか見極めるべく審査を行った。審査は、当会まちづくり委員7名にて行われ、審査方法は応募要項に記載のあった「テーマの理解度」「提案度」「具体性」「独創性」「表現力」に、「地域への波及効果」を加えた6項目を各自5段階評価し、その平均評価点が15点(5割)のボーダーラインを超えたことから、北海道代表作品とした。
- ・選抜作品 「地域復興プロジェクト」 北海道札幌工業高等学校
空き家・空き地、地域内の空洞化、若者不足や地域住民の交流不足などから起

こる地域の過疎化。こういった現象はすべてつながっており、時代とともに町が薄れていく という具体的な地域の課題を提言し、地域住民の交流不足の解消や若者を呼び込み、地域活性化させる提案である。

その提案（4大計画）は、①空き地→コミュニティー農園 ②空き地→イベント会場 ③空き家→地域住民の家畜所 ④空き家→地産地消の食堂 である。ユニークな提案かつ具現化できそうな空き家・空き地利活用計画であるとともに、地域住民が交流を楽しみ、それを他の地域へアピールすることで、多くの人々を呼び込むという考え方を評価している。

4. 連合会まちづくり委員会について（針ヶ谷）【14：40～14：50】

①全国まちづくり委員長会議及びまちづくり会議

- ・開催日 平成30年2月16日（金）・17日（土）
- ・開催場所 笹川記念会館（東京都港区三田3-12-12）
- ・参集規模 47都道府県 70名
- ・テーマ 今後のまちづくり活動の展開を探る
- ・内容 未定
- ・参加予定者 清水副委員長

5. 連合会まちづくり部会について（針ヶ谷）【15：00～15：20】

①北海道ブロックまちづくり部会連絡協議会の開催

年に1回、各まちづくり部会員及び活動関係者（本部の各委員等）が一堂に集まり、活動報告やシンポジウムを行うなど、情報を共有する場となることを目的に開催する。

- ・開催日 平成30年2月24日（土）14：00～17：00（当日、女性委員会が開催されるため、時間をずらし、16：00～18：30が望ましい）
- ・開催場所 札幌（かでの2・7や第五ビル会議室など）
- ・参集規模 全道各支部（部会関係者など） 30名
- ・内容 防災／歴史／景観／街中／福祉というカテゴリーのまちづくり活動について、それぞれの活動報告や行政を交えたシンポジウムなどを予定。

※北海道ブロックのまちづくり部会担当組織は下記をベースにスタートする

- 防災まちづくり部会：被災地応急支援委員会
- 歴史まちづくり部会：ヘリテージマネージャー特別委員会
- 景観まちづくり部会：本部まちづくり委員会
- 街中（空き家）まちづくり部会：本部まちづくり委員会
- 福祉まちづくり部会：本部女性委員会及び他団体エキスパート

<意見など>

- ・パネリストは、各部会カテゴリーに関連がある北海道や市町村の職員を招く
- ・福祉・空き家については本別町の職員を招きたい
- ・防災については北総研の方を招きたい
- ・歴史については小樽市職員の方を招きたい

- ・ある町では一人住まいの高齢者の家を空き家にしない取り組みもされている

②まちづくり部会のサポーター募集

フライヤーを作成し会誌同梱にて、全道の会員にまちづくり部会のサポーターを募る。

6. まちづくりフォーラムについて（清水）【15：20～15：50】

地域のまちづくり活動にふれ、そのまちのことや、地域が抱える問題などを知ることで、今後のまちづくり活動へのヒントを見つけ出せる「場」となることを目的に開催するものである。

- ・開催日 平成30年7月7日（土）
- ・開催場所 釧路市生涯学習センター
- ・参集規模 全道各支部、学生、市民 60名
- ・内 容 未定

<意見など>

- ・過去に他団体にて景観まちづくりワークショップが行われていたが、担当者の異動などで頓挫状況にある。その事業の継続も視野には
- ・釧路は世界三大夕日である
- ・釧路夕焼け倶楽部などの他団体と共催したい。他団体が釧路市の助成金を申請して、会場費などに充当できるかもしれない
- ・釧路支部の金子事務局長へは口頭でまちづくりフォーラムをしたいことは伝えている
- ・釧路高専の先生を招きたい。併せて学生も
- ・釧路工業高校の生徒も招きたい
- ・ワークショップで具体的にどのようなまちづくりができるのか考え、今後の活動につなげたい
- ・次回小委員会までに企画のたたき台を清水副委員長にて作成する

《連絡・報告事項》【15：50～16：30】

1. 全国大会京都大会の報告（針ヶ谷）

全国大会京都大会セッションへ参加（街中・歴史・景観まちづくり3部会合同）

- ・開催日 平成29年12月8日（金）
- ・開催場所 京都市勧業館「みやこめっせ」第1展示場B
- ・参集規模 180名
- ・テーマ 空き家問題と歴史・景観まちづくりにおける建築士の役割
- ・内 容 歴史的建造物である空き家の利活用問題や、空き家等特別措置法施行により市町村では建築士を交えて総合的な検討が行われている。これらに深く関わりのある3名のパネラーによる事例報告を通じて問題点を明確化し、その内容について会場の参加者を交えて意見交換が行われた。

2. 景観整備機構について（針ヶ谷）

①景観行政団体の新たな指定について

札幌市より連絡があり、11月6日（月）景観整備機構の指定について打合せに伺った。今後、指定に向けて動きがありそう。

②景観まちづくり塾のアンケート結果について

- ・普段なかなか見ることのできない上遠野邸見学の満足度が高かった
- ・町歩きでの。スケッチが好評であった
- ・身近なところをまちあるきしたことも良かった
- ・またまち塾があれば参加したい

※上記より、比較的高評価なアンケート結果であった

3. 次期まちづくり委員会について（針ヶ谷）

別紙名簿による。

4. 今期振り返り

2年間の活動を振り返り、参加者全員より感想をいただき、最終委員会を締めくくった。まちづくり委員会、楽しみながら充実した2年間であった。